

# 旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース
数学	数学Ⅲ	9	3	選	特進Sコース
科目の目標	数学の基礎「解析学」を学ぶ				
教科書	数研出版 改訂版 数学Ⅲ	副教材等	数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅲ 数研出版 改訂版 教科書傍用 4STEP 数学Ⅲ		

## 1. 学習の到達目標

平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用できる。

## 2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
第4章 極限	24	4	極限…微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにする。			
第1章 複素数平面	10		複素数平面…複素数を複素数平面を用いて図形的に表現することで、複素数の諸演算が平面上の図形的な性質として表されることを理解するとともに、複素数を用いて図形の性質を考察できるようになる。	○	○	○
第5章 微分法	24	5	微分法…いろいろな関数についての微分法を理解する	○	○	○
第1章 複素数平面	10		(複素数平面…4月に同じ)			
第6章 微分法の応用	30	6	微分法を用いて関数の値の増減やグラフの凹凸などを考察し、微分法の有用性を認識するとともに、具体的な序章の考察に活用できるようにする。	○	○	○
第7章 積分法	20	7	積分法…いろいろな関数についての積分法を理解し、活用できるようになるとともに、定積分と和の極限の関係を理解する。	○	○	○
第2章 式と曲線	10		式と曲線…2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにする。			
第8章 積分法の応用	10	8	積分法の応用…積分法の有用性を認識するとともに、図形の求積などに活用できるようにする。	○	○	○
第2章 式と曲線	8		(式と曲線…7月に同じ)			

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
第8章 積分法の応用 第2章 式と曲線	20 10	9	(8月に同じ)	○	○	○
2次試験対策 共通テスト対策	34	10	実際の入試問題に取り組み、更なる知識の習得と技能の習熟を図る。	○	○	○
2次試験対策 共通テスト対策	34	11	(上に同じ)	○	○	○
共通テスト対策	30	12	(上に同じ)	○	○	○
2次試験対策	18	1	(上に同じ)	○	○	○
2次試験対策	30	2	(上に同じ)	○	○	○